岡本　重明
みんなの党愛知

動画へGO

市民みんなが幸せになるまちづくりとは

誰一人取り残さない社会の実現を目指し、市民の皆さんが住みよさを実感できるまちづくりに引き続き取り組んでいく

まちづくりについて

問　家族という形態が崩れてきており、ほぼ比例してニート、引きこもり、登校拒否などが増えてきていると思う。女性が活躍できる社会という概念の下で、家事や介護等に専念する方々も十分社会貢献をしていると感じるが、市の考えは。

答　家庭や地域社会において、重要な役割を果たしており、家事等を家庭内で担う方々に尊敬の気持ちを抱くとともに、家事・育児等家庭内での分担だけでなく、担い手の多様化や外部の委託サービスの活用等に関しても、その方々の声に耳を傾けていく。

問　行政手法としてPFI(※)事業をコスト削減のために導入したが、炭生館は他市のごみ処理費と比べると市民1人当たり年間2千円、15年間で15億円高コストであったと思われる。今後、導入する場合の留意点は。

答　PFIの実施に当たり固形燃料化施設を直営で整備運営した場合と比べ、財政負担が軽減されるとの調査結果により実施し、成果も出ていると認識している。環境に配慮した炭化施設である炭生館は、焼却方式より多少割高な運営コストとなる。PFI導入の際は最新情報を確認し、より効果が得られるよう今まで以上に留意し、適正に進めていく。

問　コンパクトシティーに向けて整備推進している中で、市域西部等の人口減少や高齢化が顕著になっているが、人口が少ない地域ほど公共交通網が大切な市民の足である。幹線公共交通網の今後の整備方針および維持方針は。

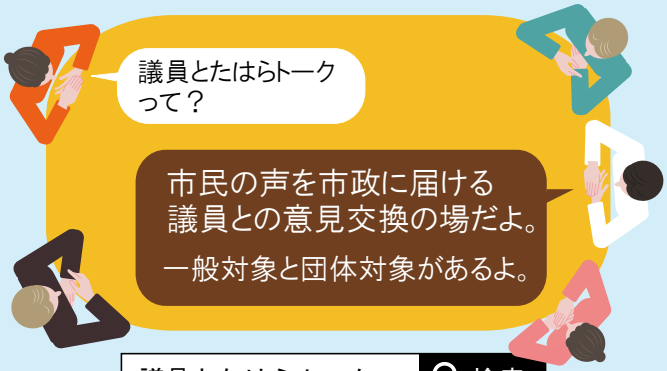
答　既に地域公共交通網形成計画に基づく公共交通網は整備されている。維持方針については、運行事業者や地域、市民、行政等が協働し、今ある公共交通網を守り育てていくことが必要である。

問　市民みんなが幸せになるまちづくりとは。

答　誰1人取り残さない社会の実現を目指し、市民の皆さんが住みよさを実感できるまちづくりに引き続き取り組んでいく。

※PFI（プライベイト・ファイナンス・イニシアティブ）とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法

議員とたはらトーク　＼再開します／



議員とたはらトーク　検索

お問合せは、お近くの議員か議会事務局まで（23-3533）

●一般対象とは
市民館などで開催します。申込み不要、どなたでも参加できます。
※新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用と検温・消毒にご協力ください。また、入場制限を行う場合があります。

●団体対象とは
5名以上で共通の活動をしている市民や団体であれば、開催をリクエストできます。お気軽にお申込みください。

最新情報はウェブサイトでご確認ください→
（団体申込みもこちらから）